

## 背景・課題

- 国立公園等や温泉地でワーケーションが可能であることを発信することで、国立公園等で遊び、働くという新たなライフスタイルを示す。なお、新型コロナウイルスの流行以降、キャンプ場が更に人気となっており、温泉地の旅館でもワーケーション推進の機運が高まっている
- 新型コロナウイルスの流行拡大を受け、感染リスクの少ない自然の中でクリエイティブに仕事ができる場として国立・国定公園、温泉地の新たな魅力を打ち出す必要がある
- 加えて、大自然を有する国立公園等による心身のリフレッシュはもちろん、自粛により外遊びを控えていた子供達に国立公園等が『遊び場』としてアクティビティの提供が可能であることを発信し、社会の閉塞感の解消、旅行者増につなげ、地域経済を再生させる

## 事業概要

### コロナ収束前から速やかに実施

#### ①感染リスクの低いキャンプ場などの環境整備・ワーケーションの実施



②旅館等での環境整備

子供向けプログラム

※屋外では感染リスクが低いと考えられるが、政府の方針に沿いつつ、感染防止策を講じながら実施

## コンセプト

34国立公園等のキャンプ場においてワーケーションの展開  
子供も楽しめるプログラムを展開

## 事業スキーム

- ①ワーケーションツアー等の実施のための企画・実施費用の支援、②子供向けプログラム企画・実施費用支援、③PR費用支援、④キャンプ場でのワーケーションのためのWi-Fi等の環境整備支援

※ワーケーション可能なキャンプ場に関する情報発信は別途実施

※【各省連携】テレワークなどの支援を実施する関係省庁と連携して実施

## 事業効果

・ワーケーション推進に伴うロングステイ（現在の国立公園内平均宿泊数1.3泊）の実現により、コロナ収束前の誘客による地域経済の下支え、ワーケーションを通じ平日の観光地の活性化に寄与

### コロナ流行収束後に実施

#### ②旅館等でのワーケーションの実施



イメージ図（南紀白浜（白浜町））



イメージ図  
（鉄輪温泉（別府市））



イメージ図  
（鳴子温泉郷（大崎市））

## コンセプト

キャンプ場での実施に加え、国立公園等・全国80カ所の国民保養温泉地の旅館等においてワーケーションを展開  
子供も楽しめるプログラムを展開

## 事業スキーム

- ①ツアー等のための企画・実施費用の支援、②子供向けプログラム企画・実施費用支援、③PR費用支援、④旅館等でのワーケーションのためのWi-Fi、什器、スペース改装等の環境整備支援

# 国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進

## 事業スキーム

### ① ワーケーションツアー等の実施のための企画・実施費用の支援

**補助対象**：国立・国定公園、国民保養温泉地のキャンプ場・旅館・ホテル等の事業者、DMO（観光地域づくり法人）、地域協議会 等

**補助額**：定額（上限300万円）

**補助内容**：国立・国定公園、国民保養温泉地のキャンプ場・旅館・ホテル等で実施するワーケーションツアー等の企画・実施費用への支援

※コロナ収束前も含めて実施する企画、実施、準備、広報等に係る人件費、運営費、レンタル費、諸経費等が対象



### ② キャンプ場や旅館等でのワーケーションのためのWi-Fi等の環境整備支援

**補助対象**：国立・国定公園、国民保養温泉地のキャンプ場・旅館・ホテル等の事業者、DMO、地域協議会 等

**補助額**：事業費の1/2（ただし、公園事業者及び公共施設の管理受託者等は2/3）

**補助内容**：国立・国定公園、国民保養温泉地のキャンプ場・旅館・ホテル等で実施する、ワーケーションやリモートワークのためのWi-Fi設備の整備、スペース改装、設備改修等への支援



※子供向けプログラムについては、「国立・国定公園への誘客の推進と収束までの間の雇用の維持・確保」にて実施